

応用化学系 応用化学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- ・応用化学における科学と工学に関連する高度な専門知識と課題解決能力によって、広く社会に貢献する意欲がある人
- ・応用化学における科学と工学についての学識を深め、未知の研究領域を開拓し、それらを体系化することで、新しい潮流を創成する強い意志と実行力を有する人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、応用化学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、応用化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

応用化学系 応用化学コース (博士後期課程)

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 応用化学分野の高度で先進的な専門知識の習得

講究を通じて世界レベルの応用化学・高分子科学・化学工学またはこれら学際領域に関する専門知識の修得と深化・先鋭化を図る学修

B) 学際領域への応用力の習得

自身が身に付けた研究分野の専門知識を複合し、学際領域への展開できる応用力を修得する学修

C) 応用化学分野における課題設定力・実践力の学修

学生自らが専門とする研究分野における最先端の研究テーマを自ら構築し実践する能力を、論文作成などを通して修得する学修

D) 社会との関わりを追体験する学習

研究機関や企業での組織的な研究・開発の学修ならびに社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理の学修

E) 論理的対話力、コミュニケーション能力の強化学修

自らの研究を国内外において発表する能力、および多様な分野の研究者・技術者と発展的な議論を展開するための論理的思考力・コミュニケーション能力を培う学修

ディグリー・ポリシー (修得する力)

応用化学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 応用化学に関する最高度の専門的学力によって独創的な学術研究、技術開発を推進する能力
- ・ 応用化学に関する最高度の専門知識を自在に活用して物質の基礎的性質や、反応性及び機能の本質を原子・分子レベルで深く理解し、解明する能力
- ・ 人文学や社会科学などの知見も活用して新たな分野を開拓する創造力
- ・ 自然環境との共生を図るための指針を提示する指導力